

2018年7月31日
北海道電力株式会社

石炭輸送船の更新および命名について

当社は、苫東厚真発電所^{※1}向けの石炭輸送船2隻を、2019年1月および2月に更新する予定です。

当社火力発電所で最大の発電出力を有する苫東厚真発電所の燃料である海外炭については、現在、当社専用船である「新札幌丸」および「樽前山丸」が中心的な役割を担い、それぞれ15年以上にわたり、オーストラリアをはじめ、世界各国から輸送を続けてきました。新たに建造している輸送船は、従来に比べ燃費効率に優れ、両船の契約期間満了に伴い、その後継として導入するものであり、北海道における電力の安定供給を支える重要な役割を引き継ぐこととなります。

新たな輸送船の船名については、本年が北海道命名150年の節目の年であり、北海道に根ざす企業として、この大地の歴史や文化を築いてこられた先人に敬意を表し、「アイヌ語」を用いて、「ぴりかもしり丸」「ぼろぬぷり丸」と命名いたしました。

当社は、引き続き、創立以来変わることのない電力安定供給確保の責任を果たしていくとともに、事業の基盤である北海道の発展に尽くしてまいります。

船名	ぴりかもしり丸 (PIRIKA MOSIRI MARU)	ぼろぬぷり丸 (PORO NUPURI MARU)
意味	美しい 大地 (ぴりか) (もしり)	大きな 山 (ぼろ) (ぬぷり)
命名理由	北海道の雄大な大地、山脈を連想させる名であり、北海道に根ざす企業として、北海道とともに大きく成長していきたいという思いから命名	
外観 (同型船写真)		
竣工予定年月	2019年1月	2019年2月
全長	235.00m ^{※2}	235.00m ^{※2}
全幅	43.00m ^{※2}	43.00m ^{※2}
型深さ ^{※3}	18.40m ^{※2}	20.00m ^{※2}
載貨重量トン数 ^{※4}	88,886トン ^{※2,※5}	87,500トン ^{※2,※5}
運航会社	日本郵船株式会社	株式会社商船三井

- ※1 所在地：勇払郡厚真町
定格出力：(1号機) 35万kW、(2号機) 60万kW、(4号機) 70万kW、計165万kW
- ※2 竣工前であるため、想定の数値
- ※3 船体最下部から上面部までの距離
- ※4 船に積載できる貨物の最大重量(貨物のほか、燃料や水なども含む)
- ※5 石炭輸送船が入港する苫小牧東港に入港可能な喫水(船が水に浮いている時の水面から船体最下部までの距離)に合わせた数値

以 上